

私の怒りポイントが、実はほめるポイントだという先生の言葉は目からウロコでした

公開教育講演会への参加ありがとうございました!

11月16日(木)に、永寿小学校で教育講演会が開かれました。



三ヶ山学園 子どもデイケアいずみの長富義隆先生より、「笑顔で子育て」と題したお話をうかがいました。

子どもデイケアいずみは、貝塚市の三ヶ山にあり、医療・機能訓練の施設を併設した療育施設です。地域の子育てに役立つ情報を積極的に発信して下さっています。まず、「子育ては、教科書がないのでたいへんですね。」「保護者のストレス発散方法を考えて、笑顔で子育てしましょう。」



と、お話は始まりました。

2人組で自分のいいところを3つ書き出し、それを手にほめてもらう活動の後に、「大人でも、ほめられるとうれしいですね。」「できないことを怒るのではなく、できていることをほめましょう。」

たとえば、「おでかけの用意をする。」とって部屋に入って5分後、部屋をのぞくとまだ靴下しかはいていません。こんな時は、「はやくしなさい!」と言いた

いところですが、「靴下はけてるね。」と、できていること、を見たまま言ってあげます。

そして、ドアを閉めて待ちます・・・なかなか、忍耐を要する対応のようですが、長富先生のお話を聞いていると「試してみようかな。」という気になりました。以下に「ほめ方のコツ」と「具体的な方法」「みなさんの感想」をのせてありますので、これを読んで「残念!!聞いておけばよかった!」と思われた方は・・・

来年は、ぜひ、
教育講演会にご参加下さい!!

お待ちしております!!

いすに座って5分、もう動きはじめました。さて、どう声をかけますか?



子育てする時の『ほめ方』のコツ・よせられた感想

ほめ方のコツ

- 子どもができている行動からほめ始める
- 子どものペースに合わせほめる
- 指示の内容は明確にする
- できたときにすぐほめる
- できないときには、ヒントをだす

子どもに言葉をかける具体的な方法

- 子どもの注意をひく
- 視線を合わせる
- 指示は短く、具体的に出す
- 「ちゃんとしなさい」ではなく、
「○○をしよう」と言う
例「走るな!」ではなく、「歩こう」

スペシャルな時間をもとう

- 短時間でも、その子一人に独占させてあげよう
- 「○○しなさい」のような教育的な指導はいれない
- 毎日でなくても週に何回かでもよい

【参加された方の感想】

- ・自分の家のことかなと思うくらいリアルな症例でした。おかげさまでとてもわかりやすかったです。
- ・怒らず、視点を変えて子どもと接していきたい

と思います。私の怒りポイントが、実はほめるポイントだという先生の言葉は自からウロコでした。

・ほめるときの具体的な方法やみつけ方がとてもわかりやすく、帰ったらすぐにできそうだと思います。

・「行動を言う」これがほめ言葉になるんですね。ほめると聞くと、「えらいね、すごいね、かしこいね、と言わなければ。」とっていました。なんか歯が浮くというか、上っ面だけ言っているような思っていたので「行動を言う」というのをやっています。

・25%途中でもほめる、しようとしていることを認めてあげてを教えて頂き、今までついつい、できてからほめていたことに気づきました。兄が妹にすぐに嫌がらせなどをするので、手をあげて私が怒るという負のループに陥りがちな毎日です。私の注目を得たいのなら、5分10分毎日スペシャルタイムを作ってあげると落ち着くかもしれないと思いました。今日から実践させて頂きたいと思います。

